

超顕微解析研究センターの利用再開について

令和2年5月18日

日頃から超顕微解析研究センターの活動にご支援を頂きお礼を申し上げます。

緊急事態宣言の解除後、大学の行動指針も段階3に引き下げられたことを受け、当センターも共同利用を再開いたします。しかし、引き続き三密の回避等、感染防止対策を強く求められているため、段階3の期間中は以下の通り限定的な形で利用を再開します。課題申請者の皆様には、もう暫くの間ご不便をおかけしますが、何卒ご理解とご協力のほどお願い申し上げます。また、本件の研究室内での周知をお願い致します。

利用再開

5月25日(月)第1枠～

利用形態について

4月6日付のメールでお知らせした通り、密閉空間での複数人による長時間作業を回避するため、当面の間は職員による技術支援(つきっきりで行う実験の指導や補助)を控えさせて頂きます。

なお段階3に対する工学研究院のガイドライン(重要かつ緊急の研究活動の遂行を認めた博士課程学生のみ立ち入りを許可)に従い、この段階では博士課程学生(もしくは職員)で、装置を自ら操作できる方**に限定した再開とさせていただきます。

*修士課程の学生、および学部生の利用は、今後、段階2に移行した時点で再開します。

**研修会を受講済みで、当センターが単独で操作できると認める利用者の方。

上記のガイドラインを踏まえて、博士課程学生の利用については、ホームページ(HP)での予約時のコメント欄に、以下の点を添えて頂きたい、お願い申し上げます。

- ① 課題申請者(教員)による「重要かつ緊急の研究活動」である事の説明
- ② センターに入室する方の氏名と身分

予約の方法について

(1) 平常通り、一週間前の月曜午前11時までに、HPの予約フォームより申込みをお願いします。但し第1週は、次頁の通り変則的な予約期間となります。

(2) 段階3の期間は、マシンタイム決定後の追加予約も予約フォームのみで受付けます(事務職員も曜日別出勤を続けるため、電話での追加予約は控えさせて頂きます)。追加予約の場合も第三希望までの入力と、コメント欄に上記①②をご記入ください

(3) 段階3では、技術系職員が曜日別出勤を続けるため、以下の装置は曜日を限定して共同利用を実施します。それ以外の装置は基本的に月～金の予約が可能です。

- ・超高压電顕(JEM-1300NEF)：月、水、金
- ・直交型FIB-SEM(MI4000L)：月、火、木

予約とマシンタイムの決定・通知について

【再開第1週： 5月25日（月）～5月29日（金）のマシンタイム】

＜予約期間＞： 5月21日（木）午前11時までに申込み

＜マシンタイムの決定・通知＞： 5月21日15時以降、センターHPの予約表に公開

【再開第2週以降： 6月1日（月）以降の週のマシンタイム】

＜予約期間＞： 平常通り、前週の月曜日午前11時までに申込み

＜マシンタイムの決定・通知＞： 平常通り、HPの予約表に利用者を公開

研修会について

対面式の授業・実験を控える春学期の間は（6/22までは）研修会の開催は控えさせていただきます。それ以降の予定や実施形態については、改めてご連絡致します。

なお研究・教育上の特別な理由から、緊急かつ個別の相談が必要な場合にはご連絡をお受け致します（センター事務室宛でのメールにて承ります）。課題申請者の皆様におかれましては、ご理解とご協力のほど、お願い申し上げます。

超顕微解析研究センター センター長 松村 晶

〃 主任 村上 恭和

〃 事務職員 山下 佳那子

(hvem_office@hvem.kyushu-u.ac.jp)

— 【重要】感染防止にむけたご協力をお願い —

- マシンタイムについては、研究室の1名（もしくは2名）の方が利用する形態を設定するなど、室内での密集回避にご協力下さい。
- 装置の利用前後に、手洗いや館内に設置したアルコールでの消毒を毎度実施して下さい。また装置利用の際はマスクの着用を心掛けて下さい。
- 微熱や風邪の症状がある場合はセンターの利用をお控えください。